

(3) 地盤沈下の現況

地盤沈下は、地表面が徐々に低下していく現象であり、一般的にはある程度広い地域の沈下のことをいい、その進行が人体に感知できないことと非可逆的な現象であることが特徴です。

地盤沈下の主な原因は、沖積粘土層等の軟弱な地盤の地域における地下水の過剰な汲み上げであるといわれ、地下水の過剰揚水→地下水位の低下→地層の圧密収縮→地盤沈下という理論が定説されています。

県内では、地盤沈下対策として地下水揚水規制や水源転換事業等が行われて、近年では沈下が沈静化しています。本町においても地盤沈下の傾向は認められません。

(4) 地下水位調査

○ 地下水位の測定井戸

井戸の所在地	井戸の深さ	ストレーナー位置
上野間字 祢宜廻間 63-5	不明	2.2 m

○ 地下水位調査結果

(単位:m)

年月日 地点	23年									24年			年平均
	4/15	5/13	6/17	7/15	8/16	9/16	10/14	11/14	12/14	1/13	2/14	3/15	
上野間字 祢宜廻間63-5	2.48	2.56	2.41	2.47	2.38	2.29	2.28	2.19	2.28	2.43	2.45	2.44	2.39

注 地表から井戸水面までの距離

○ 年平均の推移

年 度	水 面
17	2.61
18	2.67
19	2.75
20	2.61
21	2.42
22	2.27
23	2.38